

ネットワークのモデル的な実践例

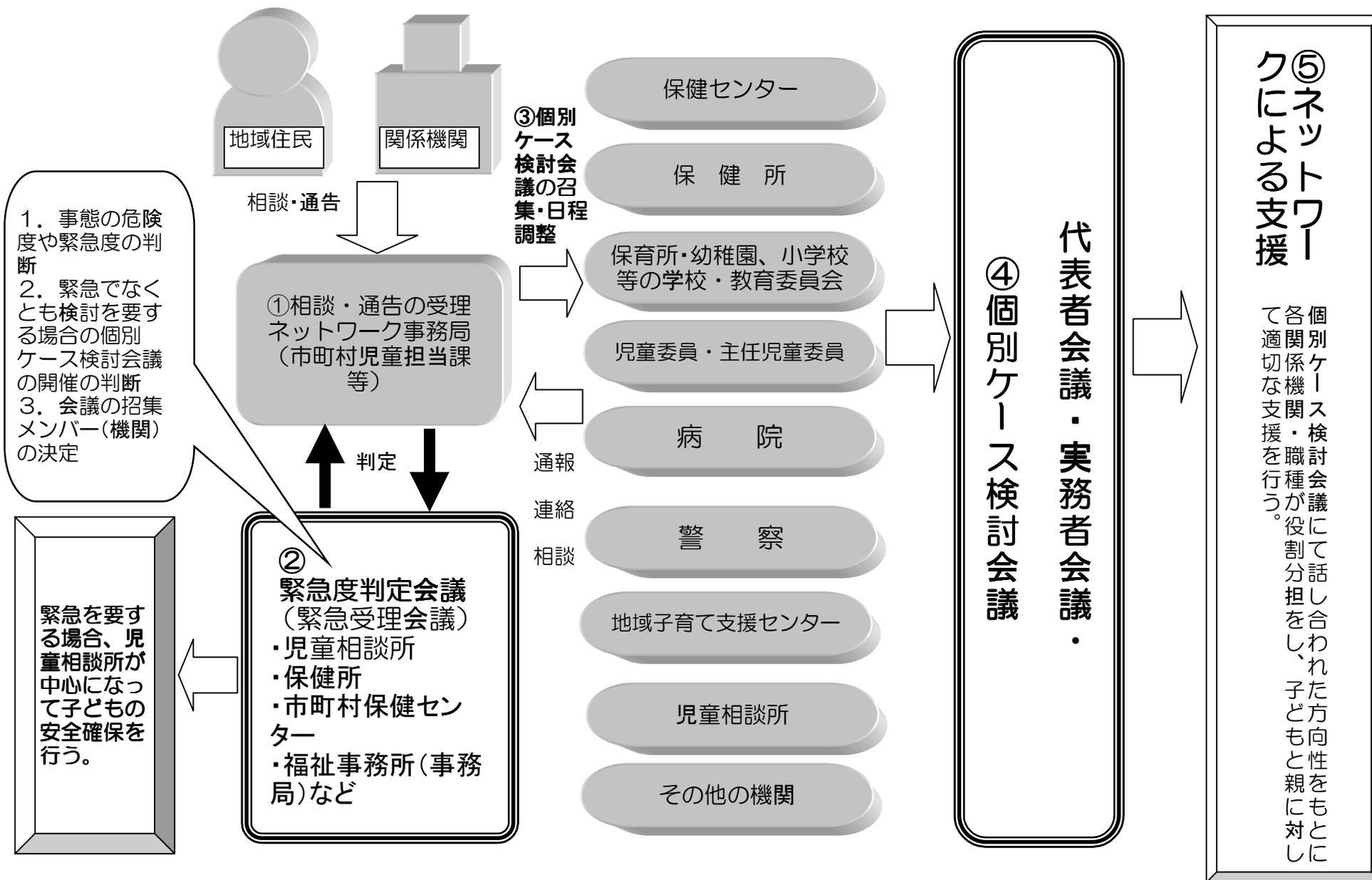
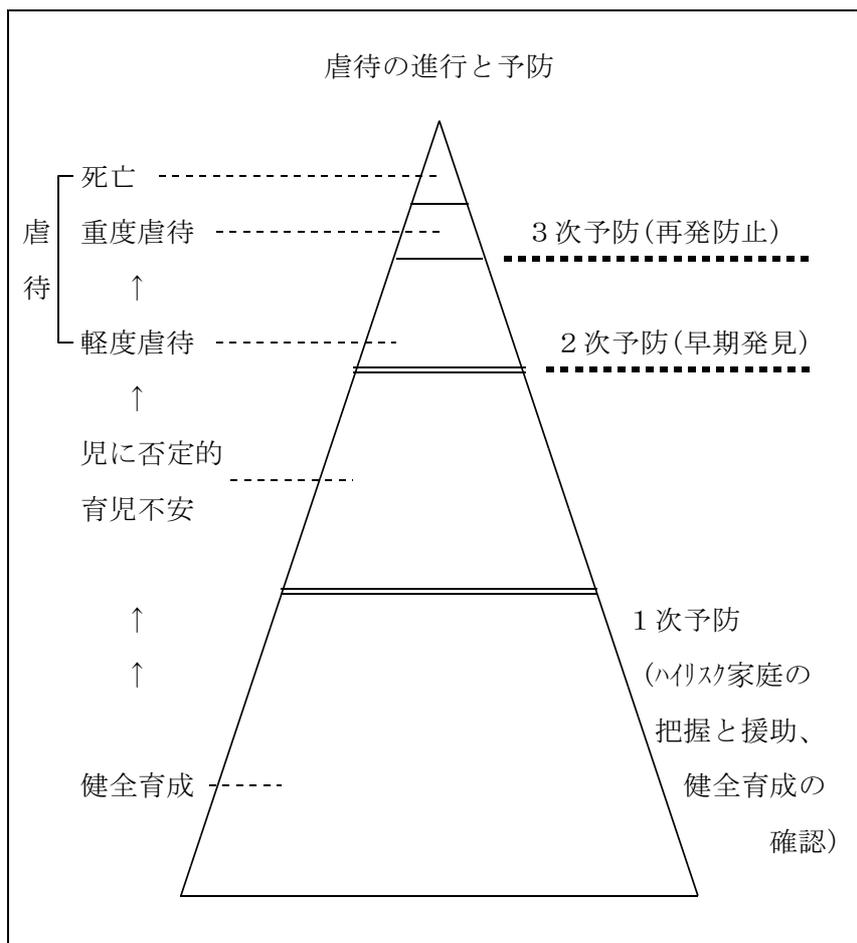


図 11-2 虐待相談・通告受付票

聴取者 ()

| | | | |
|------------|--------|--|-----------------|
| 受理年月日 | | 平成 年 月 日 () 午前・午後 時 分 | |
| 子ども | ふりがな氏名 | | |
| | 生年月日 | 昭和・平成 年 月 日生 () 歳 男・女 | |
| | 住 所 | | |
| | 就学状況 | 未就学 / 保・幼・小・中・高校 年 組 担任名 () 出席状況： 良好 欠席がち 不登校状態 | |
| 保護者 | ふりがな氏名 | | |
| | 職 業 | | |
| | 続柄年齢 | 続柄 () 年齢 (歳) | 続柄 () 年齢 (歳) |
| | 住 所 | 電話 | |
| 虐待内容 | | <ul style="list-style-type: none"> ・誰から ・いつから ・頻度は ・どんなふうに | |
| 虐待の種類 | | (主◎ 従○：身体的／性的／ネグレクト／心理的) | |
| 子どもの状況 | | <ul style="list-style-type: none"> ・現在の居場所： ・保育所等通園の状況： | |
| 家庭の状況 | | <ul style="list-style-type: none"> ・家族内の協力者 () ・家族以外の協力者 () ・きょうだいの有無 有 ・ 無 ・同居家族 | |
| 情報源と保護者の了解 | | <ul style="list-style-type: none"> ・通告者は 実際目撃している・悲鳴や音等を聞いて推測した ・通告者は 関係者 () から聞いた ・保護者は この通告を (承知・拒否・知らせていない) | |
| 通告者 | 氏 名 | | |
| | 住 所 | 電話 | |
| | 関 係 | 家族・近隣・学校・保育所・病院・保健所・児童委員・警察 | |
| | 通告意図 | 子どもの保護 ・ 調査 ・ 相談 | |
| | 調査協力 | 調査協力 (諾 ・ 否) 当所からの連絡 (諾 ・ 否) | |
| 通告者への対応 | | <ul style="list-style-type: none"> ・自機関で実態把握する ・その他 () | |
| 決 裁 | | 年 月 日 | |

図 11 - 3



図は平成 11 年度厚生科学研究

「虐待の予防、早期発見及び再発防止に向けた地域における連携体制の構築に関する研究」

(主任研究者 松井一郎) から